

## 有機農業の進捗状況について

産地支援課

### ○有機農業の取組面積

- ・有機JASほ場面積は令和3年の182haから192ha(農林水産省公表値)となりました。耕地面積に占める有機ほ場面積の割合は0.53%と、全国平均の0.35%に比べ高くなっています。

### ○有機農業の産地づくり

- ・県では、実需者からの要望に対応するため、地域における機械の共同利用や乾燥調製施設の活用等具体的な仕組みや求められる品目の生産を農業者に提案し、有機農業の産地づくりを進めています。
- ・米では実需とのマッチングを進め、取引が前年の27.6tから42tに拡大しました。令和5年度以降も取引量は増加する見込みです。
- ・野菜では実需が求めるニンジン、サトイモ、ミニパプリカなど、露地品目を中心に実証により取組を進め、徐々に取組が拡大しつつあります。
- ・昨年12月に県・県西部9市町・JAと連携協定を締結した楽天農業(株)では、令和5年度からの営農開始が決定され、地元農業者とも連携した産地づくりを進めます。
- ・令和2～3年度に中核となる産地から首都圏の販売店への輸送コストの削減を目的に物流改善に取り組み、輸送費を約5割削減できたことから、県内の地域物流の改善や荷量の確保などの取組も進めながら、全県での展開を支援しています。

有機米の規模別認証事業者分布【R4】

